

エコドライブ 10のすすめ

「エコドライブ普及連絡会」が推進する
エコドライブのポイント10項目をご紹介します！



CO₂もガソリン代も削減。

“エコドライブ”で行こう！

地球の温暖化、ガソリンの価格高騰が続いている今こそ、
環境にも家計にもやさしい「エコドライブ」を徹底マスターしよう！

長引くガソリン価格の高騰に、家計を預かるミセスとしては、悲鳴をあげてばかりでははいられませぬ。今こそ、環境に配慮した運転「エコドライブ」の始めどき。特別な運転テクニックが必要なわけではなく、運転時のちょっとしたクセを変えるだけで、ガソリンの使用量を減らすことができ、CO₂の排出量も減らすことができます。おまけに、安全運転を促して、事故を減らすこともできる。

「エコ・節約・安全」3拍子揃ったエコドライブを徹底的にマスターして、環境にも家計にもやさしいエコドライバーにいち早くなりませんか？



地球温暖化に大きな影響を与えるCO₂を減らすため、環境に配慮して車を運転しましょう。

警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省からなる「エコドライブ普及連絡会」では、「エコドライブ10のすすめ」(左ページ参照)を推進しています。

日本のCO₂排出量

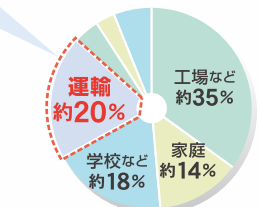
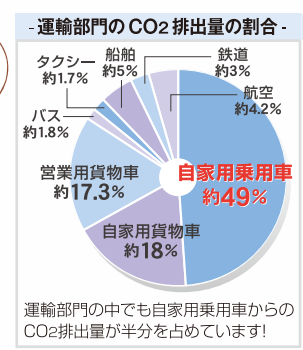
「どんな効果があるの？」

「ガソリン消費量の削減」により、「CO₂排出量の削減」ができます。

- エコ** CO₂が減るので、地球温暖化防止につながります。
- 節約** 燃費が向上するので、ガソリン代が節約できます。
- 安全** 安全運転が促されるので、事故防止につながります。

④メーカーが「NGVCOOL」
「NGV55」
ガソリン1リットルあたりのCO₂排出量は約2.3kgです。

これは…
2リットルのペットボトル
約590本分!!



- 日本の部門別CO₂排出量の割合 -
日本のCO₂総排出量(2005年度)は、約12億9300万トン。
その中でも運輸部門(自動車・船舶・鉄道・航空など)が約20%占めています。



1 ふんわりアクセル「eスタート」

「やさしい発進を心がけましょう」

発進時、最初の5秒で時速20kmを目標にゆっくり発進するだけで、約11%燃費アップ。



2 加減速の少ない運転

「車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速歩行に努めましょう」
車間距離を詰めたり速度にムラのある走行は、加減速の機会が多くなり、市街地で約2%、郊外で約6%燃費ダウン。

4 エアコンの使用を控えめに

「車内を冷やし過ぎないようにしましょう」
気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調節を。外気温25℃の時に使用すると約12%燃費ダウン。

3 早めのアクセルオフ

「エンジブレーキを積極的に使いましょう」
減速・停車時、早めにアクセルから足を離してエンジンブレーキを活用するだけで、約2%燃費アップ。



5 アイドリングストップ

「無用のアイドリングはやめましょう」
10分間のアイドリングで約130cc燃料ムダ。(ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合)



6 暖機運転は適切に

「エンジンをかけたらすぐ出発しましょう」
現在販売されているガソリン車は暖機不要。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で十分。5分間の暖機で、約160cc燃料ムダ。

8 タイヤの空気圧をこまめにチェック

「タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう」
タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で約2%、郊外で約4%燃費ダウン。



7 道路交通情報の活用

「出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害などの情報をチェックしましょう」
1時間のドライブで、道に迷って10分余計に走行すると、約14%燃費ダウン。

9 不要な荷物は積まずに走行

「不要な荷物を積まないようにしましょう」
車の燃費は荷物の重さに敏感。100kgの不要な荷物を載せて走ると、約3%燃費ダウン。



10 駐車場所に注意

「渋滞などをまねく、違法駐車はやめましょう」
交通の妨げになる場所での駐車は、通行車の加減速や渋滞をまねき、余分な排出ガスをださせる原因。平均車速が時速40kmから20kmまで落ちると、約31%燃費ダウン。